

拾遺

續江戶才奈故

四

卷之四

淨土十八檀林

并諸宗傳寺

寺院拾遺

淨土 禪宗 真言

法花 天台 向宗

亞佛類聚

觀音 并三十三所

地藏 弥陀 茶師

不動 弁天

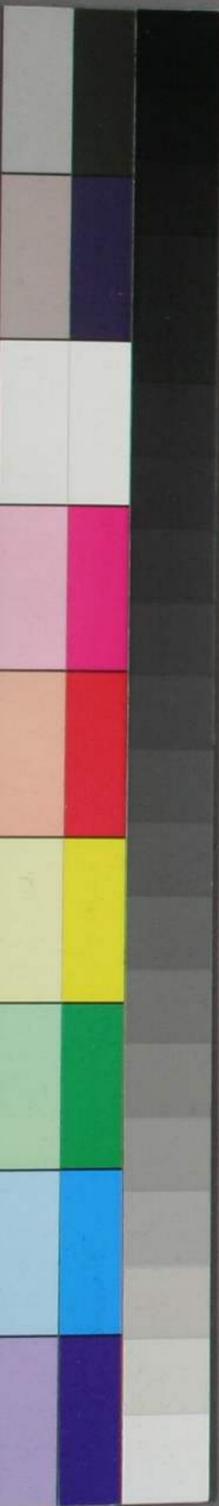
追加

特別

凡4

3228

10



門凡生
號 3228
卷 10

續江戶破子温故名跡志卷之四



菊岡沾涼纂

○淨土宗十八檀林並諸宗役寺

○寺院拾遺

- 一淨土宗
- 二禪宗
- 三真言宗
- 四法花宗
- 五天台宗
- 六一向宗

○靈佛類聚

- 一觀音
- 二地藏
- 三阿彌陀
- 四藥師
- 五不動
- 六辨才天

追加

昭和三十年
六月九日
購求

○淨土宗關東十八檀林

○三級山增上寺廣度院

江戸芝

寺産万石

○三級山增上寺廣度院

由緒前集見

平石

○無量山寺經寺傳通院

江戸小石川

寺産二百石

○無量山寺經寺傳通院

由緒前集見

○道本山靈巖寺

江戸深川

寺産五十石

○道本山靈巖寺

由緒前集見

○神田山新知恩寺幡隨院

江戸下谷

寺産十石

○神田山新知恩寺幡隨院

由緒前集見

○常在山靈山寺二尊教院

江戸本所

寺産十石

○常在山靈山寺二尊教院

由緒前集見

○天照山光有寺

相列後倉

寺産百石

○天照山光有寺

由緒前集見

○遍照山勝寶寺

武列瀧原

寺産三十石

○草地山蓮華院淨福寺

常列那珂郡凡連

寺産三百石
或九石

○草地山蓮華院淨福寺

延文三年作竹權院義篤建立 慶長衣

○壽龜山弘經寺

武列飯沼

寺産百石

○壽龜山弘經寺

應永廿一年起立

常列系後

○佛法山東漸寺

武列葛飾郡早架金

寺産四十石

○佛法山東漸寺

應永十三年起立

○孤峰山蓮馨寺

武列入間郡河越

寺産二十石

○孤峰山蓮馨寺

天文年中起立

○龍澤山大巖寺

武列生賣

寺産百石

○龍澤山大巖寺

天文年中 原式部用基

○正定山大念寺

常列信文郡江戸崎

寺産五十石

○正定山大念寺

慶長七年起立

○義重山大光院 上列勅田 寺産三百石

○用山源蓮社然譽上人 大阿吞庵和尚 上列館林 寺産百石

○終南山善導寺 上列館林 寺産百石

○用山演蓮社智譽上人 幡隨意白道和尚 武列瀧山 寺産十石

○觀池山大善寺 武列瀧山 寺産十石

○用山應蓮社濟譽上人 牛秀助給和尚 武列瀧山 寺産十石

○佛眼山淨國寺 武列瀧山 寺産十石

○用山圓蓮社總譽上人 階巖和尚 天正十五年起立 寺産五十石

○結城山弘經寺 下總 結城 寺産五十石

○用山嘆譽上人 良聲和尚 寺産五十石

○誓願寺 紫衣 寺産五十石

○本誓寺 深川 寺産五十石

○西福寺 寺産五十石

○曹洞宗 關東僧祿三ヶ寺

○安國山總寧寺 用山通幻和尚 下總 房臺 寺産百石

○大平山大中寺 用山快菴和尚 下野 富田 寺産百石

○長昌山龍穗寺 用山益極和尚 武列 越生 寺産百石

○同宗 江戸三ヶ寺 寺産百石

○万平山青雲寺 用山雲密和尚 芝 寺産百石

○如龜山總泉寺 用山孝宗和尚 枳場 寺産百石

○万松山泉誓寺 用山門菴和尚 寺産百石

○同宗 江戸檀林 寺産百石

○流流山吉祥寺 用山青岩和尚 孫也 寺産百石

○竜谷山如運寺 用山堅室和尚 三田 寺産百石

○普陀山長谷寺 用山門菴和尚 寺産百石

○五山僧祿 寺産百石

○勝林山金地院 用山大業和尚 芝切通 寺産百石

○廣口 少子

○妙心寺流四ヶ寺

○天沢山蘇祥院 用山渭山和尙 寺産三百石

○佛日山東祥寺 用山灵南和尙 寺産三百石

○蒼龍山松源寺 用山灵雅和尙 寺産三百石

○大雄山海祥寺 用山寛印和尙 寺産三百石

○大德寺汎觸頭

○万松山東海寺 用山沢菴和尙 寺産五百石

○櫻家山祥雲寺 用山 寺産五百石

○真言四ヶ寺

○金剛山報生院 用山家善法印 寺産三百石

○万徳山弥勒寺 用山宥徳大 寺産百石

○摩尼珠山真福寺 用山照海上人 寺産百石

○愛宕山園福寺 用山神流上人 寺産百石

○真言律関東總本寺 宝林山大悲心院雲雲寺 寺産百石

○身延山觸頭

○慈雲山瑞林寺 用山日慈上人 谷中

○報新山宗延寺 用山日精上人 下谷

○大光山善立寺 用山日徳上人 涉手

○池上觸頭

○長徳山兼教寺 用山月園上人 二本榎

○興業山朗愷寺 用山日清上人 日下

○中山觸頭

○龍江山妙法寺 用山日如上人 谷中二處

○京本圓寺觸頭

○平河山法恩寺 用山日佳上人 京東 ○秋祐山宗林寺 用山日心上人 谷中

○秋祐山幸教寺 用山日幸上人 涉手

○京效滿寺觸頭

○長遠山慶印寺 涉手 ○鳳凰山妙圓寺 用山天目上人 出川

○長遠山慶印寺 涉手 ○鳳凰山妙圓寺 用山天目上人 出川

○長遠山慶印寺 涉手 ○鳳凰山妙圓寺 用山天目上人 出川

聖実上人念佛弘通の故太子の信を以て因東より坪根沈
 以一字を遺すや、その後、後弘園庵享徳二年太蓮社加誓上人良祐
 中興し淨土の地増修し神田の山を以て今に至る
 抑は淨土の又用唯天竺淨土の神佛の佛地を以て淨土と稱す
 至孝の誠を以て淨土と稱す、淨土淨土平念法、まことの時
 は信を直作あり、心付て孝親の所歎く、

補上宮太子 天然山慈眼院 増上未 日所

四十二歳の時影法師自作し太子四十二の除厄の事、佛蓮あり、高き
 じし、神田の山あり、此處の回縁の堂、増修し、なり、此の時、信
 せ、此の時、住僧住持上人あり、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信
 の地、淨土二本の移りあり、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信
 の道、如く、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信
 房中、の事、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信
 念、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

まゝにしてまゝにして、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

○金亀山西光寺 真方庵 此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

○郭然山満象寺 増上未 日所 ○日照山易行院 増上未 山谷

○厭離山宗安寺 日未 此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

○豊佐山恵心院誓願寺 増上未 小の、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

中興、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

小の、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

○朝茅山周光寺玉蓮院 元和元紀立 用山超蓮社論宗康和尚 増上未

○紫金山如来寺蓮花院 用山宗蓮社格登成并信要和尚 増上未 今戸

○大蓮山廣徳寺西照院 用山天蓮社冠登上人 明暦三月、信せ、此の時、信せ、此の時、信

○佛迎山安樂寺 隆東一心院 未 下谷、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

用山正蓮社覚誓上人、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

▲修佛取観音 作不知 下鴨、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信せ、此の時、信

▲雷除の如来あり

○榮法山起勝院清閑寺 岡山天蓮社晴譽水波和尚 小の口

○法界寺 岡山光蓮社明譽善海和尚 三河橋

○本然山住性寺 灵山寺末 聖徳寺末 くのり

○補紫雲山英信寺常倫院 天蔵末 寛永年中起立 下谷金杖

岡山天蓮社明譽善海和尚 大檀那身別持院惣持を松平家丹列管山

做至松平家駿列小橋松平家珠之家紀之のた場なり

○正行寺 岡山念蓮社專譽達道和尚 御也く言健

高寺境内の佛堂久永平のありきとの不傳あり寺子孫を為る

石平通人正三の門人し仁王座禪の相をわつたると云り常集

海平久永平の石像のありきと云り正三流のくかきしと死ぬ

愚業多のありて符合せしとの或人云正三俗名は松平久永と云

平内丸丸の松平丹列候に刻長なりと云ふ

○津蓮寺 信通末 白山 信通末 白山

○清水山深光寺 信通末 小日向 ○宝福山藤閑寺 信通末 小日向

○生西寺 信通末 岡山寶譽上人舊典和尚 小日向

○智鏡山太意寺 信通末 岡山兼蓮社相譽法運和尚 小日向

○栄松山法正寺 信通末 岡山雲蓮社昌譽助見和尚 牛心

○紫雲山来迎寺 信通末 岡山宗蓮社傳譽上人良縁和尚 牛心

○宝地山不執院清岸寺 傳通末 代々木

岡山專蓮社寛譽上人天了和尚 正保四上十月十五日并入石列津和野武人

○弁星山大信院珠寶寺 市谷本村四下所

岡山覚蓮社文譽丈洞雲和尚 寛文十三六月廿二日并入 現住兼譽上人

○常念佛 弘法大師の作并才天護法神なり

○萬葉山津喜院正源寺 増上末 白金基所

岡山昌譽上人萬葉和尚

寺の海境三三 高寺付室 日本六十余列各國納経所の神佛乃

形體を及び六十廿六所存像各四尺一咫刻一圓公御の御御子体

續江戶石子 四

○日照山光雲寺 增上末 三田 ○淨業寺 智恩末 高輪
 ○演暢山正覺寺 智恩末 高輪 ○般舟山願寺 智恩末 高輪
 ○光信院 天徳末 三田 ○道源寺 天徳末 三田
 ○秀成寺 日末 西ノ末 ○源光寺 西ノ末 三田
 ○法音院 西ノ末 芝 ○宗光寺 日末 芝
 ○大徳寺 三田 ○大仙寺 三田
 ○蓮樂寺 三田 ○唯了寺 三田

○補深川本誓寺 岡山貞蓮社念譽上人丈賀和尚初相列
 小田原本誓寺貞譽上人の弟子より後年江府より移りて寺派
 同く之の母雙比願寺にて開下に名僧多し其の法承九等
 の寺山天谷寺之日本原源寺の春把和尚少志川大吾寺典嶺和尚等
 乃碩海 尚寺る寺所あり寛永十二年子十二月六日朝鮮
 乃之使来朝の時高寺の時館舎に安藤服故の二候寺也
 正使 白麓任光 副使 東溟金世濂 從吏官 青江黄泉

又同二十一年癸未七月七日本朝の時館舎に信地之田郡候が羽羽列候
 正使 尹津溪 副使 趙龍洲 從吏官 申竹堂
 又明暦元未十月二日本朝の時館舎に信地之田郡候が羽羽列候
 正使 翠屏越所 副使 秋潭愈場 從吏 壺谷南龍翼
 又天和二年八月二日二使が朝の時館舎より後深川より

二 禪宗寺院拾遺

○補黄粟山龍谷寺 曹洞宗 岡山東昌寺末 下谷
 岡山南嶺秀大和尚 現任雷門和尚
 △禪堂 享保の初頭殿迄の信大播氏禪門省翁法師建立之
 為寺心 一 寺屏風の多しあり慶安のころは地より
 ○龍淵山白泉寺 遠別長良寺末 下谷
 岡山雪外秀大禪師 為寺心を列より
 ○補一力久山大松寺 肯松寺末 天正元癸酉起立 後寺新成
 ○補龍徳山松源寺 大松寺末 寛永十一年起立 日下

○巨嶽山曹興寺 吉祥寺末 後子 ○挑雲山永見寺 吉祥寺末 後子
 ○陽雲山心月院 依徳寺末 日下 ○長仙山清巖寺 吉祥寺末 小日向
 ○普賢山大慈寺 東福寺末 大つ ○妙法山法雲寺 金剛寺末 小日向
 ○天壽山永昌寺 延平寺末 牛池 ○室山山長久寺 崇徳寺末 小日向
 ○龍土山長法寺 長命寺末 牛池 ○白光山長昌寺 後徳寺末 小日向
 ○見龍山天法院 吉祥寺末 牛池 ○洞雲山龍興寺 日下
 補萬頂山高岩寺 忍辱集福寺末 上野寺末 鳥居下
 洞山杖嶽大助大和尚 印傳の世系あり 長律の末より 現任齊坊和尚
 ○泰雲寺 黄蘗流 洞山鏡禪和尚 中興千山和尚 鳥居合
 ○金谷山空祥寺 常州山王山末 洞山大休南禪師 鳥居
 ○雲居山宗恭寺 寺座十五 吉祥寺末 牛池 齊天丁
 洞山看榮禪師 牛池氏勝行。父の堂は善提の末天文十三甲辰建立
 洞田四十斛を寄り 雲居院殿前大胡大寺實翁末泰大菴主
 天文十二年より年以て大胡堂の法を以て重法とて山新に傳へり

け大胡堂は武藏守貞守府將軍秀卿の後流上野公大胡
 の職主大胡太郎重俊六代の孫に去列牛池の職に任じ貞勝は
 天文二十五年に五位下になりて下時奉り大胡をあらわす牛池氏と号
 所幕下牛池氏の祖に 隆徳の末 二段の橋 汝羅羅掛
 ○長光寺 字泰寺末 大久保 ○石龍寺 宗泰寺末 大久保
 ○氷松寺 音松寺末 四谷 ○湖雲寺 々松寺末 小日向
 ○浪谷山福盛寺 浪谷寺末 下浪谷 ○祥雲山龍泉寺 々松寺末 小日向
 ○佛陀山天真寺 京大徳寺末 小村 ○金松山江竜寺 依寧寺末 今井
 ○迦葉山盛徳寺 氷川社別當 上列沼田迦葉山末 小村
 南寺の本心と密圓の二名ありて佛法僧の心をあり性靈集に日光
 小くそ弘法大師の詩を傳へり 事ありてこれより日光の山に
 ありてありて け迦葉山とありてありて 閑人感歎をとり 閑人の
 ○多聞山天現寺 京大徳寺末 長徳の昆波門天あり 藤井氏末

○補慈眼山光林寺

京地心志未

慶平新造

○用山盤桂和尚

為寺ハ元市生所の造りあり

○彌泉山祥西寺

京大徳寺末

世公の招き寺と云

塔頭

○天曉院

大寺末

香林菴

梅玄菴

○廣宝山常福寺

大中寺末

三田

春宵院

○補佛日山東禪寺

京地心志未

○大高山寺昌寺

京地心志未

○天曉院

大寺末

本禪寺

下三輪

○廣宝山常福寺

大中寺末

○不真寺

高山寺末

○彌泉山祥西寺

京地心志未

○高寺末

出川

○天曉院

大寺末

宗法院

心源院

○彌泉山祥西寺

京地心志未

○不真寺

高山寺末

○天曉院

大寺末

宗法院

心源院

○彌泉山祥西寺

京地心志未

○不真寺

高山寺末

○天曉院

大寺末

宗法院

心源院

○彌泉山祥西寺

京地心志未

○不真寺

高山寺末

○五智山遍照院惣持寺

川井中寺産三石

西新井

○天曉院

大寺末

宗法院

心源院

○彌泉山祥西寺

京地心志未

○不真寺

高山寺末

○密厳院 湯杖寺 寺産千石 川口 ○真頂院 湯杖寺 寺産千石 川口 ○地蔵寺 寺産千石 川口

○高野寺 在番二箇寺 寺産千石 川口 ○西澤院 寺産千石 川口

○常泉院 寺産千石 川口 ○加納院 寺産千石 川口

○玄性院 寺産千石 川口 ○南蔵院 寺産千石 川口

○多聞院 寺産千石 川口 ○池見山蔵院 寺産千石 川口

○東福院 寺産千石 川口 ○茶王院 寺産千石 川口

○大徳山南蔵院 寺産千石 川口 ○報恩寺 寺産千石 川口

○二宮院 寺産千石 川口 ○玄圃寺 寺産千石 川口

○七聖山光徳院 寺産千石 川口

○彌荷山東光院 寺産百石 市谷川田カノ

○岡山燈覚法印 現任 壬申法印

△徳守彌荷大明神 太田道灌の勸濟

○和光院 寺産千石 川口 ○多聞院 寺産千石 川口

○長楽寺 寺産千石 川口 ○莊嚴寺 寺産千石 川口

○正慈院 寺産千石 川口 ○宝徳寺 寺産千石 川口

○福壽院 寺産千石 川口 ○慈眼寺 寺産千石 川口

○明王山聖不動院 寺産千石 川口

真言古義乃古縁しむい大寺なりし大寺なるの縁を説く
に縁しむい大寺なりし大寺なるの縁を説く
に縁しむい大寺なりし大寺なるの縁を説く
に縁しむい大寺なりし大寺なるの縁を説く
に縁しむい大寺なりし大寺なるの縁を説く

○八幡宮 寺末印三石 別當大宮寺

源頼朝の義公建之の中より社務廣く古松老枝枝葉を以て

○丸香山勝願寺 寺末印寺産十二石

○光林山西福寺 行基の作茶所如來具佛あり

○智将院 真徳寺末 二本板 ○世尊寺 寺末印寺末

○海賞山來福寺 長遠寺末

本寺の經讀地兼いふ九寸八分弘法大師の作

義保の比相列の経願會権原景道一子なり其を以て

は行の經願會を感一神仏淨積正元丹といふ靈芝又此經

つゝの寺を撰りて男子を撰りて經願會権原景政

是くそのら子孫権原氏と稱し信 寺末印寺末

と号二板を撰りて別荘を設居住に権原寺末の撰り

寺末印寺末の撰りて一旗の塔も尚寺に在

正元丹の撰りて寺末印寺末の撰りて寺末印寺末

○彌勝山正定院 正智院末 寺末印寺末

○蓮華寺 三室院末 寺末印寺末

○西秀院 寺末印寺末 寺末印寺末

○慈眼寺 寺末印寺末 寺末印寺末

○不動院 寺末印寺末 寺末印寺末

○安粮院 寺末印寺末 寺末印寺末

○吉祥院 寺末印寺末 寺末印寺末

○山王院 寺末印寺末 寺末印寺末

○善王寺 寺末印寺末 寺末印寺末

○徳王寺 寺末印寺末 寺末印寺末

○宝積院 寺末印寺末 寺末印寺末

○大衆院 寺末印寺末 寺末印寺末

○玉王院 寺末印寺末 寺末印寺末

○茶王寺 寺末印寺末 寺末印寺末

○瑞福寺 寺末印寺末 寺末印寺末

○徳王寺 寺末印寺末 寺末印寺末

○善王寺 寺末印寺末 寺末印寺末

○西光院 寺在石碓末 竹橋 ○俄勢院 在石碓末 六月村

○常楽寺 寺在石碓末 日下 ○松乐寺 在石碓末 吹切

○延命寺 在石碓末 本寺有法太子之御像所基之作し

○菩提寺 在石碓末 利生院 柳系

○多聞寺 在石碓末 雷川 ○梵音寺 平井

四 法華宗 寺院拾遺

補慈雲山瑞林寺 身延末寺改 石中

岡山日慈上人 庚了院 在石碓末 大輪坊

寺中 本立院 本妙院 辨仙院 玄妙院 是立坊 東漸坊

元成坊 玉泉坊 大本坊 常延坊 智泉坊 常修坊

○日照山長明寺 本國寺末 谷中

寺中 蓮行院 常備坊 長壽坊 了玄坊

○高光山大圓寺 法恩末 信教大師の作大里天奇置室前常燈 三備

○月耶小法昌寺 在石碓末 龍瀉末覺寺 在石碓末 法界

○勸明山法親寺 在石碓末 法年 ○頂光山蓮光寺 身延末 法年

寺中 実相坊 粮泉坊 寺中 了泉坊

補宝徳山大久寺 在石碓末 我後中改末 下谷車坊

岡山日朗上人 為寺より日蓮上人の御子と云ふあり

○寶妙山法成寺 在石碓末 法光山久遠寺 在石碓末

補正定山幸四寺 牛也七郎所房列小澤延末末

為寺に加友肥後守清正の建立し祖師日蓮上人の傳に寒暖に衣被

を以て事とせしむる如く 法親下向部氏より代々年毎に寺進取と

○興栄山朗清寺 池上末 船院 日下

岡山日清上人 塔院 親理院 本寺院 妙泉院 香妙院

為寺に修古八丁塔ありし 池上船院に善教寺と一月かりし

補長祐山美教寺 在石碓末 三王門本堂額作玄竜筆 日下

岡山日清上人 塔院 長生山極福寺 香骨院 泉泉院 真法院 了仙坊

本坊坊 妙泉坊 石坊坊 香正坊

○松尾山正徳寺 中山末 芝倉坂 ○延壽寺 芝倉坂
○大長寺 中山末 芝倉坂 ○妙陀山兼宗寺 芝倉坂
○富士山上行寺 大倉末 二本坂 ○多松寺 二田
○補芳荷山長應寺 越後本末 芝倉坂

塔院 蓮長院 本照院 純正院 母禪坊
禪定坊 元詮坊 正泉坊 池本坊
○真徳山玄圃寺 池末 三目 ○長徳山敏行寺 池末 三田

○廣栄山一乗寺 小湊末 西ノホ ○正法山園真寺 小湊末 二本坂
○補鳳凰山妙圓寺 妙法寺船所 寺産子石 延慶年中起立 品川
○洞山天目上人 比末 中老十八人の祖師の附才 高野寺の古蹟

○經王山本光寺 洞山日什上人 明徳三年 中興日鏡上人 品川
○東光山本照寺 比末 品川 ○實相山蓮長寺 品川
○本立寺 比末 品川 ○天目山妙久寺 小湊末 品川

女天台宗寺院拾遺

○補紫玉山東光院 慈恵の目末末 末由前集以詳 後集に可
寺中実宗院 自性院 宝徳院 明徳院 不動院 明徳院 蓮長院
○金龜山安楽院 比末 聖天下 ○寛王山妙足院 上野 比末
○紫玉山福昌寺 成徳末 比末 ○善観寺 比末 比末
○松尾山宗清寺 比末 比末

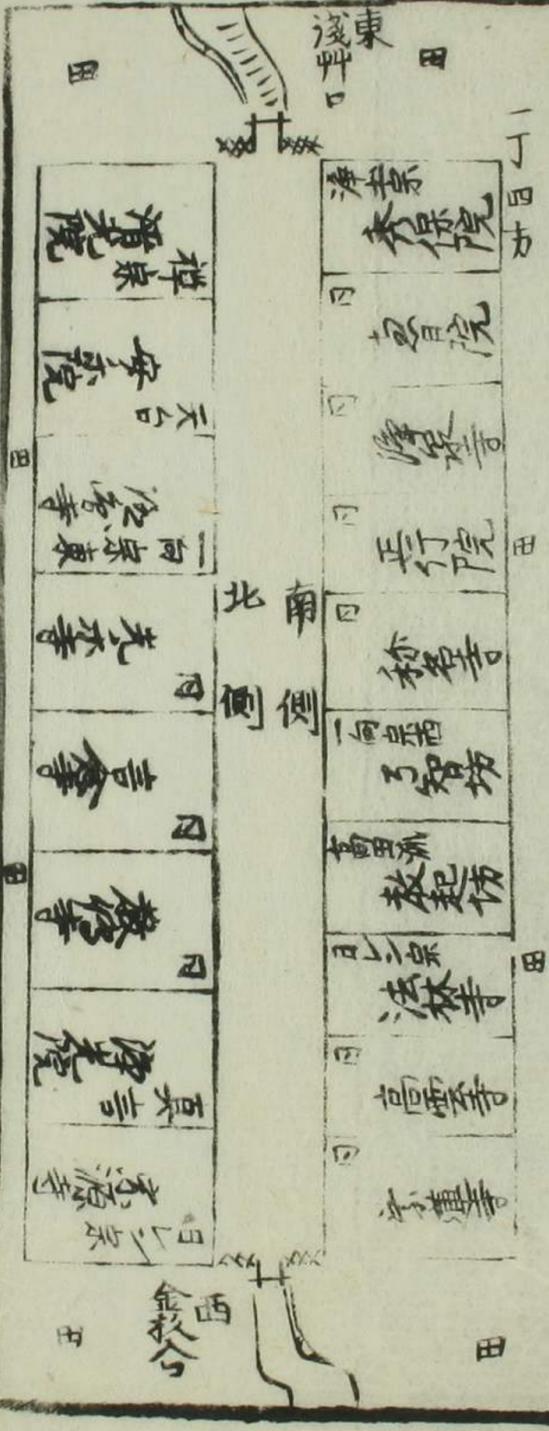
六一向宗拾遺

○紫雲山通入寺 東末 八丁坂 ○玉園寺 東末 八丁坂
○補龜子山菩提寺 比末 比末 比末 比末 比末 比末 比末 比末
一々心越禪師の戸下仰の明徳山一々寺跡に極化の角

丙寅李春過龜子山善福寺櫻花下吟
獨憐不語無知己 偏向春風索咲多
怎奈遊人凭注目 也應拍手自相歌

○小塚原金龍尊堂坊寺 皆本寺あり

正保度安の比に浅草下谷の寺院皆境内に金堂あり一とせ
 東慶山所成のこころ具氣来凡ふそり世所ふりる第に具
 煥聖場よかりのこころをうりりくろをせれ煥を避へ地(川下)と
 釣合ありうりて今の前が一所の地を解り浅草下谷をの法寺五
 ケ寺七ヶ寺一は流く其寺の葬場とせりて下大の寺二十
 余ヶ寺とせりての末寺といふは後伯儀して今十八ヶ寺あり
 今の中は葬ス草法禁一日没まをの眞撞とせりて一統子野に



一六 觀音

六 觀音乃名目天合止觀ニニ申く六方の徳化は是を御身對
 一 大悲觀世音即十千觀音なり此道に地獄の罪人を救はる
 能化しんもの物を名なるなり地獄の罪人を救はる
 一時にその苦厄を抜ゆ事法華にせり九界法
 海度一ありうりて千千の四十臂ハ三界二十五有
 と度する事を教へしるなり四十を二十五にた
 りるなり一十ありりるなり四十千ありと千千と
 二十五有いもなりら六道なり
 二 大慈觀世音即聖觀音し正作ハ是を佛光
 乃化主とせりりり其靈を海して佛鬼神
 三 師子並良觀世音即馬頭觀音なり畜生道の
 能化なり畜生の中に馬の吉祥を貴し

漢工抄子

所乘ありけるより念怒の形を現し白馬の頭を
 頂より戴きこゝろ畜生の愚癡執著の業苦を漸
 次一歩一歩し白馬の白の自性清淨を深著の色を表せり
 四 大光普照觀世音。即十一面觀音とし佛母たる
 化主たる四維の憍維ありて國難をぬむは憍維の
 暗照被一歩一歩より大光普照と名けり
 五 天人丈夫觀世音。即準觀世音にして天人道の
 融化して人の百物の靈にしてありて天にも勝れる事
 あり故に準觀世音の融化言却に法尊を出生し
 此を以て人をもたし人心蓮花胎藏より一切の佛子
 を生じ今の本を表せり準觀の十八臂は九界を度する
 以排他攝受の二にありて一十九十八の教をあらわし十八日と
 觀音の胎藏とせり一とせりとるるを以て十五經 十齋日を
 念す今觀世音を奉中十八日と世藏を念し廿四日と

觀音を念ふを以てありけるの代りの證ありや

六 大梵波遠觀世音とて如意輪觀音なりを天竺の
 化主とする事、法天の利便を以てよく法輪を轉して
 濟度し給ふ事を表せり如意輪の六臂は六道の融化
 たる事をあらわし 鑽石集二見此六觀音、天竺大師出
 巧釋に六字章句としんを以て道に融し給ふ

○七 觀音 并 八大觀音

不空羅索觀音を如して七觀音とて、本經を以て
 京東の法苑に飯の七觀音院とてあり、本尊は七条の女院
 八觀音一ありけるなり、室を以て七觀音とて、心なりける
 け、女院は高舍院、后は後多相院の事、母他理、大丈信隆乃女
 又け六觀音は小野、廣沢、八二院あり
 八大觀音は 不空羅索 是俱胝 十一面
 馬頭 愈怒鉤 如意輪 不空鉤 警羅那

ありては清く洗いで元和年中蒲生が敗壞の後、
 佐倉の城を堀田がくゞり、故ありて、
 増書屋観音 松竹の龍泉院 真言寺、清き草末、
 九十四代花園院の宸翰、千三所の観音の傍、
 増湖海生観音 廣宝山を福寺 淨宗 大中末、
 遠江の城、
 太神文の清く、
 増源光、
 増千子、
 此ののれ、
 増土、
 補聖、

○江都三十三所観音 古来のれ、
 外、
 追、

一番	金龍の浅草寺	同、
二番	浅草駒成堂	此の、
三番	深川三十三間堂	此の、
四番	浅草清水寺	此の、
五番	下谷弁楽寺	此の、
六番	上野清水堂	此の、
七番	湯島天神喜見院	此の、
八番	駒込の清林寺	此の、
九番	駒込の深草前定宝寺	此の、
十番	駒込の正念寺	此の、
十一番	小石川の観音	此の、

○山北三十三所觀音

保祓略之

- 一番 牛心寺觀音 天合 千手立像三尺 貞心作
- 二番 日下奈奈龍山松源寺 淨宗 正觀音立像二尺五分 弘法作
- 三番 箱土松雲山普賢寺 天台 日立像三尺 日作
- 四番 小石川東光山西尾寺 淨土 千手立像二尺五分 運慶作
- 五番 石段所河原照山光岳寺 淨土 正觀音立像二尺五分 聖徳子作
- 六番 又下所大慈寺 淨土 日立像二尺五分 春日作
- 七番 音羽所神宮山後園寺 真言 聖輪座像二尺五分 唐伴
- 八番 日下東光山長壽寺 真言 正觀音立像二尺五分 行基作
- 九番 日下東光山長壽寺 真言 土面像二尺五分 行基作
- 十番 改代所彌荷山長壽寺 天台 日立像二尺五分 行基作
- 十一番 軍橋田十知山宗源寺 淨土 日立像三尺 日作
- 十二番 日下松慶山宗勝寺 淨宗 觀音立像二尺五分 貞心作
- 十三番 下戸塚日輪山東福院 真言 千手立像二尺五分 弘法作

- 十四番 下戸塚延雲觀音寺 日宗 土面像九寸 日作
- 十五番 高田松竹山松源院 日宗 繪像宸筆 貞園院
- 十六番 日下光松山放生寺 日宗 七觀音
- 十七番 馬場下澤園山清源寺 淨土 千手立像二尺五分 行基作
- 十八番 原町紫雲山來血寺 日宗 正觀音座像二尺五分 貞心作
- 十九番 馬場下澤園山清源寺 淨土 正觀音立像三尺 行基作
- 二十番 七軒寺三山千手院 真言 千手立像八寸五分 昆之助作
- 廿一番 日下東曜山室龜寺 天台 日立像七寸五分 行基作
- 廿二番 市谷柳町七雲山光徳院 日宗 日立像三尺 菅原相作
- 廿三番 四谷小幡山澤蓮寺 淨土 正觀音立像二尺五分 貞心作
- 廿四番 日下妙光山普賢院 天台 千手立像二尺五分 弘法作
- 廿五番 日下香通山普賢寺 日宗 正觀音立像三尺 貞心作
- 廿六番 日下多助山觀音寺 真言 日立像二尺九寸 弘法作
- 廿七番 日下錦致山真徳院 日宗 日立像二尺九寸 海中出現

○身代地蔵

善徳山常徳寺

浄土宗 徳土物居

懇心信教の作事長七尺余

幡随庵才七世

寛文二寅年起立

用基貴登上人万量和尚

才二世持譽上人室痛を

盲の者子信す白木の地蔵を新撰云は時子十月晦日の夜

一人の高僧ありて其の痛を我よりりて其の痛を

先ぬきて其の痛を我よりりて其の痛を

其の痛を我よりりて其の痛を

身代地蔵

四

三

○身代地蔵 善徳山常徳寺 浄土宗 徳土物居

懇心信教の作事長七尺余 幡随庵才七世 寛文二寅年起立

用基貴登上人万量和尚 才二世持譽上人室痛を 盲の者子信す白木の地蔵を新撰云は時子十月晦日の夜

一人の高僧ありて其の痛を我よりりて其の痛を 先ぬきて其の痛を我よりりて其の痛を 其の痛を我よりりて其の痛を

其の痛を我よりりて其の痛を 其の痛を我よりりて其の痛を 其の痛を我よりりて其の痛を

身代地蔵

四

三

○身代地蔵 善徳山常徳寺 浄土宗 徳土物居

懇心信教の作事長七尺余 幡随庵才七世 寛文二寅年起立

用基貴登上人万量和尚 才二世持譽上人室痛を 盲の者子信す白木の地蔵を新撰云は時子十月晦日の夜

一人の高僧ありて其の痛を我よりりて其の痛を 先ぬきて其の痛を我よりりて其の痛を 其の痛を我よりりて其の痛を

其の痛を我よりりて其の痛を 其の痛を我よりりて其の痛を 其の痛を我よりりて其の痛を

增小兒地藏 八尺 本亦回白鹿也 小兒の瘻瘻也 江

增花川戸六地藏 八尺 六通 儀系雷津門のひり 大門のあつた

○江戸六地藏最初建立の地

一番 駒の塚 泰寺 浄土 二番 千駄木も泰寺 浄土

三番 日暮里 浄先寺 浄土 四番 池沼心行寺 浄土

九番 東叡山 慈濟菴 浄土 六番 浅草寺 正智院

元禄四年に開眼供養せり是を始の六地藏といふなり

六地藏

十五經曰

爾時世尊告乞叉底薩

子波菩薩 言善哉善哉 諦聽地 藏於未來

世為緣 現身我當授一記 六種名字 頌告言

預天賀地藏 左持如意珠 右手說法印 利諸天人衆

放光王地藏 左手持錫杖 右手與願印 兩成五穀

金剛幢地藏 左持金剛幢 右手施無畏 化脩羅魔幢

金剛悲地藏 左手持錫杖 右手引接印 利傍生諸界

金剛室地藏 左手持室珠 右手其露印 施餓鬼飽滿

金剛願地藏 左持闍魔幢 右手成辨印 入地獄救生

又六地藏 記 左の縁路と我の持杖と一の地獄の能化し

一占察地藏 左の縁路と我の持杖と一の地獄の能化し

二無畏地藏 左の縁路と我の持杖と一の地獄の能化し

三觀音地藏 合掌し畜生を救ふ

四勝輪地藏 左の縁路と我の持杖と一の地獄の能化し

五、空勝地藏 五、香好（五、香好と云ふは、此の經の中人たを摩訶、六、不休息地藏、左の如く、機木の機杖を擡ぐ大者の機杖、以て六、家を度救、一、六、機木の空號二品あり、勝、延命地藏、又、鶴龜地藏、光味地藏、と云ふ、復後地藏、又、地持地藏、と云ふ、法性地藏、不休息地藏、と云ふ、漫陀地藏、法平地藏、と云ふ、勝軍地藏、甲田の條、轉尼地藏、陀羅九世、と云ふ、合考、地藏、故、勝軍、空性、と云ふ、

阿彌陀如來

彌陀佛、西方妙觀、索智法曼陀羅の教、過去久遠、知、世自在王如來の法を用、金輪、乃、位を拜、佛、法、此、比、早、と、起、の、經、を、案、一、五、知、を、應、く、佛、の、法、を、奉、佛、と、号、に、宝、積、經、の、收、の、下、の、威、利、佛、の、時、の、因、王、彌、意、王、と、号、も、河、河、泥、佛、の、事、し、如、知、三、昧、經、の、條、勝、藏、王、出、生、

菩薩經、勝切、他、王、智、印、三、昧、經、の、起、王、と、号、も、河、河、泥、佛、の、事、なり、法、經、の、條、多、在、於、泥、豈、只、此、一、二、なる、人、や、か、く、は、信、の、神、呪、を、唱、ふ、と、唯、曇、論、の、字、を、足、經、の、も、條、泥、を、頂、戴、さ、る、佛、の、條、泥、の、三、世、信、佛、の、條、信、仰、さ、る、人、や、法、の、事、に、攝、取、さ、る、の、衆、生、惡、鬼、邪、神、等、の、障、礙、あ、る、と、あ、る、條、偏、は、は、る、大、意、堅、力、大、智、堅、力、大、智、堅、力、大、推、邪、力、と、云、ふ、事、也、

彌陀佛靈場

- 黒木尊 増上寺 芝
- 傳通院 奉有 惠心作 岩川 ○ 増上寺 奉有 惠心作 芝
- 龍雲寺 奉有 唐佛 深川 ○ 妙光寺 奉有 春日作 勝子
- 西應寺 奉有 惠心作 芝 ○ 西福寺 奉有 安河作 勝子
- 刺紙の跡 陀、念、寺、法、子 ○ 靈山寺 奉有 慈雲作 勝子
- 菘色の跡 陀、心、外、寺、深、川 ○ 梅宮院 奉有 太子作 勝子
- 畫吹の如來 春日 春日 春日 春日 ○ 安光寺 奉有 惠心作 勝子
- 畫吹の如來 春日 春日 春日 春日 ○ 玄信寺 奉有 月作 勝子

善福寺... 惠心作

增 極圓佛... 慈眼院

增 蓮分派院... 九品佛

上品上 醫玉山真性寺

上品中 白菴山等覺寺

上品下 宝珠山與樂寺

中品上 長耀山感應寺

中品中 千年山栄松寺

中品下 霞関山大宗寺

下品上 光松山放生寺

下品中 黄龍山泰雲寺

下品下 龍光山知清寺

題田端六阿弥陀九品極

麻布 ○大光寺... 雲空作

增 極圓佛... 慈眼院

朝日如來... 吉原 凡塵

真言宗 崇勝

同宗 田端

同宗 谷中

天台宗 谷中

淨土宗 物四寺町

同宗 四谷連分

真言宗 元八幡

禪宗 落合

板橋

くま... 坪井千極

四 藥 師 如 來

業障如來... 四聖の解釋あり... 淺略 業障をのみ... 彌陀光菩薩

音龍光佛の... 一ニ大衆を授け... 佛の功徳成佛... 八百四

の相好を具足... 一 東方淨瑠璃世界に在る有縁の衆生と攝取す

○二 深秘... 此の如く大日法身首... 萬徳の中にあて金剛界の五智

子、阿闍佛... 此の如く大日法身首... 萬徳の中にあて金剛界の五智

如來... 三 秘中深秘... 此の如く大日法身首... 萬徳の中にあて金剛界の五智

又法界定印... 此の如く大日法身首... 萬徳の中にあて金剛界の五智

安んずる... 大日如來療病... 一時に入り衆生身心の病を治す

業障... 此の如く大日法身首... 萬徳の中にあて金剛界の五智

○四 秘中秘... 此の如く大日法身首... 萬徳の中にあて金剛界の五智

なり... 佛三昧那... 一切衆生本有淨善信心の衆生

生佛一如の善徳... 心を表す

○薬師聖場

補中堂茶師 傳教大師の作 東叡山瑠璃殿の事

傳教大師の父母嗣子なりと傳ひて日枝の左杉森の

神代より神後親雲元奉八月十八日誕生ありとの

経巻を御く石の美令の茶師佛の小像を拵て出生あり

十二歳にて出家し延暦年中に比叡の茶師を予割あり

自等身の茶師佛を刻し根中堂に奉置し給ふ

補圓來寺の茶師 醫王山善光院 真言 聖末 善光院

此の御作の作三列圓來寺の茶師日本河の傍にあり

の御作の御作ありて橋の茶師として好あり之和兼中

東文よりありて聖叡寺の傍にありて聖叡寺深川に傳

る所いに堂地を賜ふ其の傍に傳世人のありて

○茅場茶師 山善光院 下 類焼茶師 徳江河 善光院

○本川茶師 傳教作 淨光寺 ○東光院茶師 後平河

○石尾茶師 真言 不勤院 増東光茶師 法界新院

○根生院茶師 春日作 山一山 ○揚中茶師 徳江河 善光院

○元町茶師 念寺 ○寅茶師 太河 山王院

○増高田茶師 大徳山南藏院 真言 後平河 善光院

○聖徳太子の御立像三尺四寸 聖徳太子奉和年中 興列 善光院

○秀徳指佛の御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○同國の時君の御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○立く御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○大指立度別荘の御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○御作ありてはるの御作ありてはるの御作あり

○行所茶師 徳也 数法寺 ○元木茶師 行基作 光島寺

○真鴨茶師 行基作 真性寺 ○柴山茶師 信教作 牛也 正徳院

○石茶師 市谷 茶主寺 ○旭茶師 四谷 十福寺

○三田茶師 信教作 田 通照寺 ○子懸茶師 忠作 正徳院

○曾等身茶師 中興山照海上人作 真福寺 真言寺

慶長九年甲列の信長法師長政の幸長法師父子御由ありて尚寺

を御代として出仕あり長政上人の御代として日びより

おのり名譽御土御代ありて未の世より其姓信

を信と刻して其の胎信を志す一徳あり

は徳く上人より茶師の信を刻し其の信を刻して

御代の御容に姓信法を賜り其の信を刻して

等身茶師と号し信長公幸長公松平茶師御代は信長

見

補七佛茶師 神田茶師と号 醫王山東福寺 上野末 麻布

信長公の作七佛茶師の其一極し六孫王經基公の守を

して大慶年中經基公衣冠の公に居候あり一時

ふんたり水養年中源頼義公相別後念ふ長公の時

足組の御代と稱し後念ふの公に代り信長公

候あり後信長年中大田道直公列河越の城中に

文明八年大田道直江戸平河より入らる慶長年中

信入御のより信仰候より五年七月圓が御代

御代は御代ありて信長公御代より信長公御代

候し慶長九年平河より神田の御代より信長公

候し信長公御代より信長公御代より信長公御代

候し信長公御代より信長公御代より信長公御代

候し信長公御代より信長公御代より信長公御代

候し信長公御代より信長公御代より信長公御代

おなり... 仙波喜多院の末流なり... 慈眼大師の時に東嶺の末に子孫を... 其慈眼の傳を... 所謂七佛茶師

善各稱吉祥王如來 寶月智嚴音自在王如來 無憂寂勝吉祥王如來

金色宝光妙行成就王如來 法海勝惠遊戯神通如來

法海雷音如來 藥師瑠璃光如來 七佛四德經見

補伊更子茶師 醫王山福昌寺 天台 檜林寺末

智徳大師の作源... 増川上茶師 東 孫助多 増七雲茶師

○多回茶師 増七雲茶師 東 孫助多 増七雲茶師 西光院

五 不動 聖場

末田茶師あり

○目黒不動 慈作 龍泉寺 ○目白不動 弘法作 長谷寺

○目赤不動 作不知 南谷寺 ○砂尾不動 良井作 不動院

○増速流不動 作不知 立像五尺 湯島根生院後六堂

○増幸不動 善美作 池田 宝王院 池田河二丁目

○増... 奥田市... 増... 増... 増...

増... 増... 増... 増... 増... 増... 増... 増... 増... 増...

の... 居陽まありて宝玉流す階属はまろくの病苦と... 心乃寺

○彼勢不動 浅まお向大深院 ○形不動 正室院

○大山不動 形也 形乃也 ○茶研不動 明玉院

増廣不動 聖教を履く三下海ふの方田強さるるの心

二下... 痛をすたる病の強さるるの心

六 轉天 聖 係 追加

増首尾弁天 智鏡山覚真寺 浄土 天徳寺 二本板

弘法大師の作 龍尾満足の形容し面然天世... 白波

三... 龍尾満足の形容し面然天世... 白波

増令枚弁天 台徳山正覚寺 浄宗 天徳寺 下巻金板

河基弁の作 三巻 用山親山敬育和尚 寛永二年起立

巻之四 軸

